

# 米子市（中国ブロック）

【計画期間 平成27年12月～33年3月】

・毛利一族の吉川広家が湊山で米子城の築城に着手し、中心市街地の基礎が作られた。  
 ・海陸交通の条件にも恵まれて江戸中期から明治大正にかけて海運業が盛んであり、商業の町として栄えてきた。  
 ・陸海空の交通の要衝、山陰の玄関口として発展し、行政、商業、交通、教育、文化、医療及び福祉などの様々な都市機能が集積している。

## 【中心市街地を巡る状況】

- 住民基本台帳人口は平成17年をピークに減少傾向に転じ、特に中心市街地においては、人口の減少、少子高齢化が顕著
- 市全体及び中心市街地のいずれにおいても事業所数、従業者数とも減少
- 観光客数は、平成25年の出雲大社の遷宮などにより鳥取県西部圏域にも好影響をもたらしたが、波及効果も薄くなり、徐々に減少傾向に

## 【中心市街地に関する指標の推移】

- 歩行者通行量（自転車含む。）  
H19:20,282人 → H25:18,744人（▲1,538人、▲7.6%）
- 下町観光ガイドの利用者数  
H19:1,380人 → H25:1,180人（▲200人、▲14.5%）
- 居住人口  
H19:12,059人 → H25:11,069人（▲990、▲8.2%）

目標	成果指標	現況値 (H26年又は年度)	目標値 (H32年又は年度)	増加分
人が集いにぎわうまち	歩行者等通行量 (自転車を含む。) (人/年度)	(H26年度) 12,945人	(H32年度) 13,200人	255人
	駐車場の利用台数(時間貸しのみ) (台/年度)	(H26年度) 1,498,308台	(H32年度) 1,515,000台	16,692台
歴史や文化、自然に触れ合えるまち	文化施設の利用者数(人/年度)	(H25年度) 1,138,317人	(H32年度) 1,140,000人	1,683人
	下町観光ガイドの利用者数(人/年)	(H26年) 956人	(H32年) 1,380人	424人
住みたくなるまち	人口の社会増減(人)	H22～27年の平均(3月末時点) -5人	H28～H33年の平均をプラスに(3月末時点)	

## 【目指す中心市街地像】『人が集まり、歩いて楽しめ、元気に暮らせる中心市街地』～生活充実都市・米子～

人でにぎわうまちづくり	ふるさとを活かしたまちづくり	安心して暮らせるまちづくり
<b>【主要事業】</b> ・米子駅南北自由通路等整備事業 ・商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業 ・商都米子再興戦略・商業施設整備事業 ・にぎわいのある商店街づくり事業 ・山陰歴史館整備事業 ・チャレンジショップ事業 など	<b>【主要事業】</b> ・山陰歴史館整備事業 ・新生米子市立図書館の運営 ・米子下町観光ガイド ・地域おこし協力隊活用事業 ・まちなかモニターツアー ・まちなかなう事業 ・米子城跡整備事業 など	<b>【主要事業】</b> ・民間共同住宅建設事業 ・移住定住推進事業(お試し住宅) ・EVカーシェア事業 ・空き家活用プロジェクト「わだや小路」事業 ・高齢者地域コミュニティ支援事業 ・移住定住相談窓口の設置 ・小規模保育所設置事業 など

# 米子市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 人のにぎわうまちづくり

### ①米子駅南北自由通路等整備事業

鉄道で分断されている米子駅の南北を結ぶ自由通路と駅南広場を整備することで、中心市街地へのアクセス及び利便性の向上を図り、玄関口にふさわしい環境を整える。



### ②商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業

米子高島屋別館の空床スペースを改装し、子供の遊びを通じた知育・体育プログラムを提供することで、子育て世帯を呼び込むとともに、近隣商業施設等との連携を図る。



### ③商都米子再興戦略・商業施設整備事業

子ども連れでも気軽に飲食等ができ、キッズサポート施設との相乗効果が期待できる商業施設の整備を行なう。



### ④チャレンジショップ事業

低コストで試行的に商売実践できるチャレンジショップを設置し、起業を支援することによって、活力の増進と新陳代謝を促し、中心市街地の商業の活性化を図る。

## 安心して暮らせるまちづくり

### ⑤民間共同住宅建設事業

まちなか居住を志向する人のための住居を確保し供給するため、法勝寺町、日野町、立町において、約130戸の住戸を整備する。



### ⑥移住定住推進事業

転入希望者へ向けた暮らしや雇用等に関する制度や支援措置についての情報発信及びワンストップサービスの相談窓口の設置し、お試し住宅等との連携を図る。

### ⑦小規模保育所設置事業

地域の子ども・子育て支援の充実を図り、子どもを生き育てやすい環境を整備するとともに、待機児童の解消を図る。

中心市街地区域：約196ha



#### 凡例

- : 中心市街地の区域 (前計画)
- : 中心市街地の区域 (新計画)
- : にぎわいゾーン
- : だんだんパスルート
- : 商店街

## ふるさとを活かしたまちづくり

### ⑧山陰歴史館整備事業

よなごの通史を学ぶ場として、また、城山のガイダンスや下町散策の拠点施設として整備し、施設そのものの利便性を高めると共に、情報発信施設として機能するよう整備する。



### ⑨地域おこし協力隊活用事業

3名の協力隊員がそれぞれの得意分野を活かし、中心市街地に設置する情報発信拠点において、まちの最新情報や観光資源、子育て環境等幅広い分野において、SNS等を活用した情報発信事業を行う。

### ⑩米子下町観光ガイド

寺町、白壁土蔵、加茂川・中海遊覧など、豊富な米子の観光資源に観光客がその魅力に触れることができるよう受け入れ体制を作る。